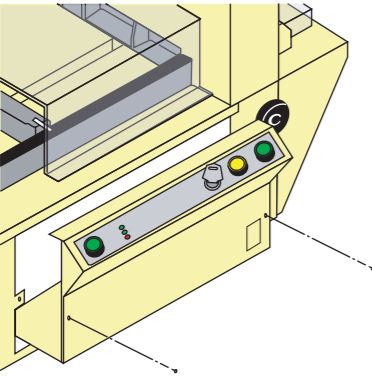
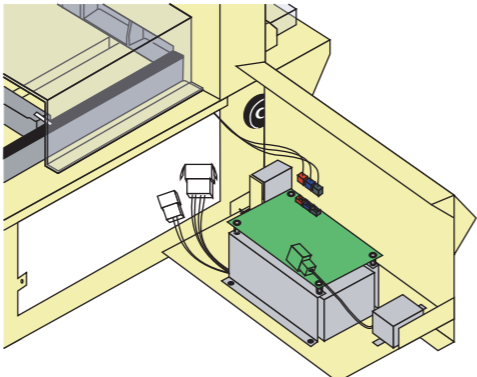
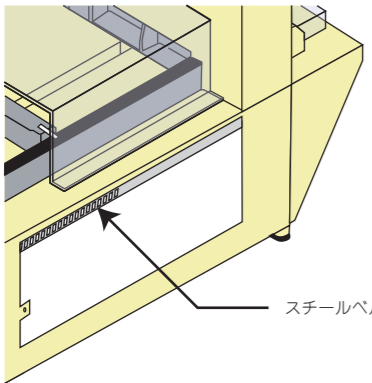
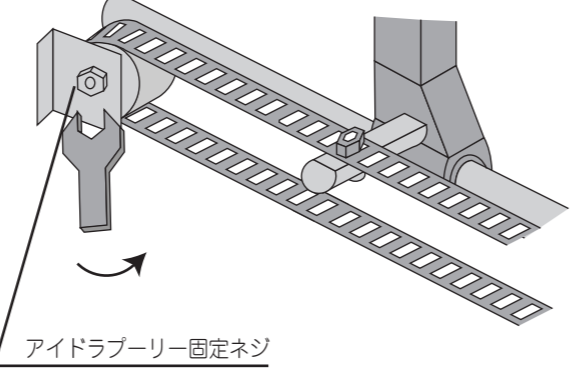
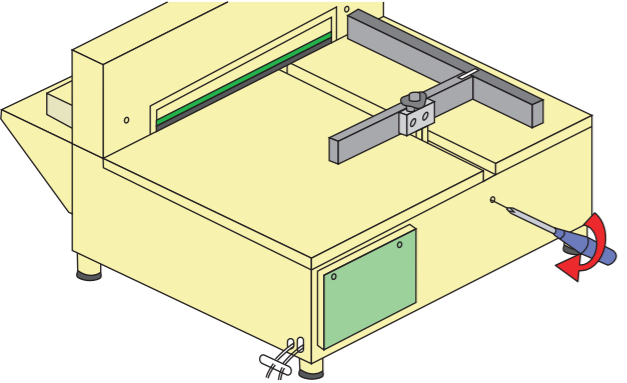
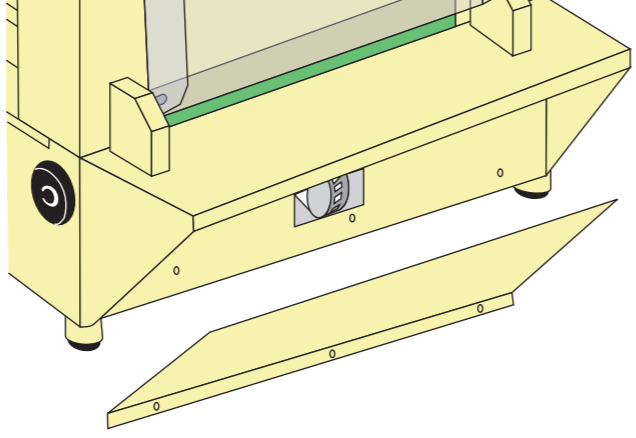
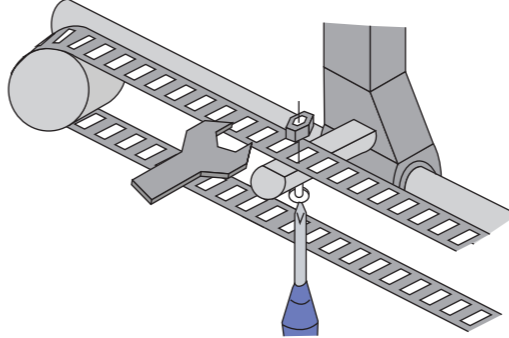
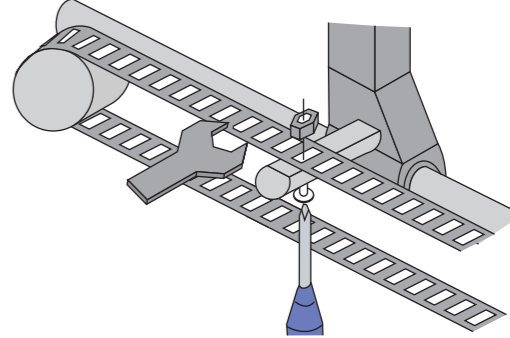
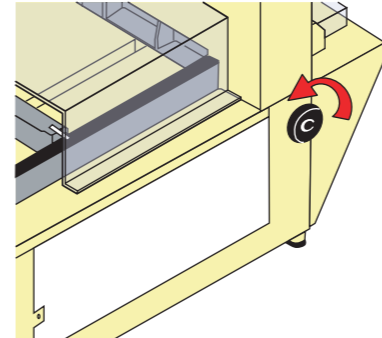
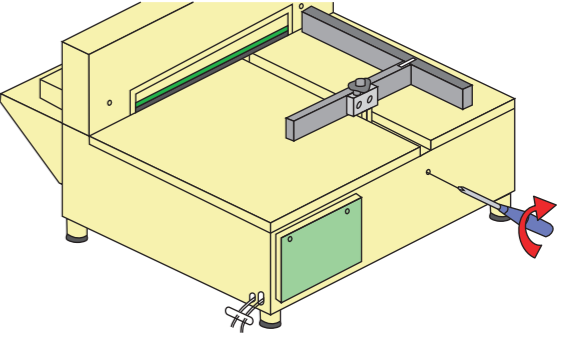
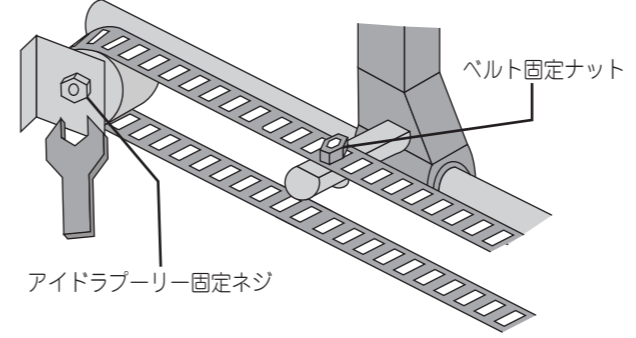
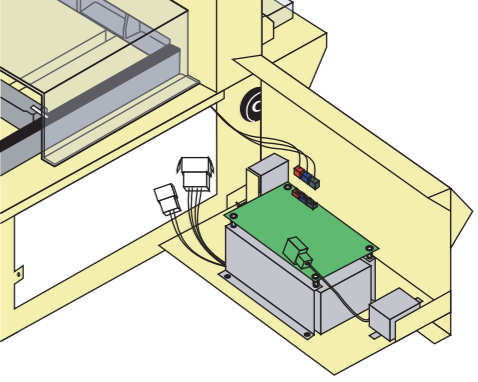
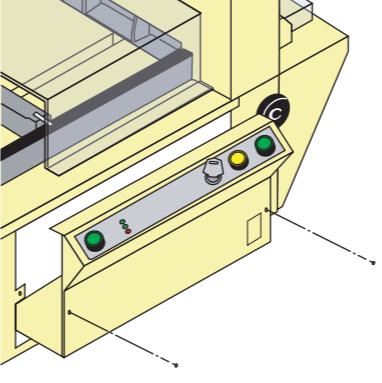
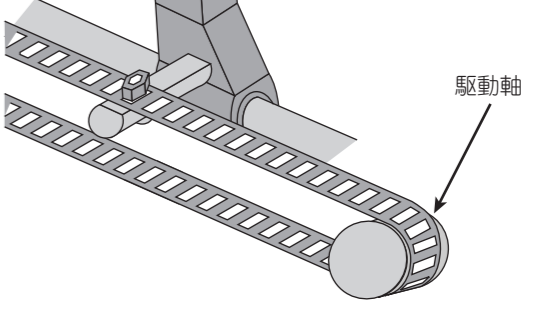


スチールベルト交換 K-395・K-430

この修理は、ごくまれな修理ですが、お客様ご自身もしくは販売店の方々用にご用意させて頂きました。
【使用工具】 プラスドライバー・8mmスパナ・13mmスパナ・8mm六角レンチ

<p>1</p>  <p>本体の前部パネルをプラスドライバーにて緩め、前部パネルを引き抜きます。</p>	<p>2</p>  <p>中に配線等がありますのでコネクターを6箇所抜いてください。</p>
<p>3</p>  <p>機械内部にスチールベルトが見えます。</p>	<p>4</p>  <p>アイドラプーリー固定ネジ</p> <p>アイドラプーリー固定ネジを13mmスパナにて緩めて下さい。</p>
<p>5</p>  <p>本体左側のベルト引きネジを1~2回転緩めてください。</p>	<p>6</p>  <p>図のように安全カバーの下のカバーを外すと、スチールベルトが見えます。</p>

<p>7</p>  <p>スチールベルト固定ネジをプラスドライバーで固定しながら8mmスパナにてベルト固定ナットを外し、スチールベルトを取り除いてください。</p>	<p>8</p>  <p>新しいスチールベルトを同じ様にかけ、軽くナットを締めます。</p>
<p>9</p>  <p>紙当定規つまみを動かしてみます。紙当定規がシャフト上を軽く動かない場合、シャフトに油等を含ませた布を使い拭いてください。</p>	<p>10</p>  <p>次にベルト引きねじを時計回りに締めて、紙当定規がスムーズに動作するように張ります。</p>
<p>11</p>  <p>アイドラプーリー固定ネジ</p> <p>ベルト固定ナット</p> <p>ベルトが張り、紙当定規つまみで動きがスムーズな事を確認し、アイドラプーリー固定ネジ及び、ベルト固定ナットを締めてください。</p>	<p>12</p>  <p>配線のコネクターをしっかりと組み付け、本体前部パネルを取り付けてください。</p>
<p>13</p>  <p>パネルのねじを取り付けて、終了です。</p>	<p>14</p>  <p>駆動軸</p> <p>紙当定規が、紙当定規つまみでうまく動かない場合は、駆動軸側のゴムが磨り減ってる場合があります。その場合は駆動軸側のゴムを交換してください。</p>